

きざえもん新聞

こんにちは、きざえもんです。

春とはいえ、まだ浅く寒さの名残が感じられる日が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

一月、近くの大気味神社へ初詣に行き、書初めや福笑いを行いました。書初めは皆、遠慮され中々書こうとされませんでした。「思いきって楽しんで書きましよう！」と声掛けすると、躍動感溢れる書初めがたくさん見ることが出来ました。

二月、多賀小学校の四年生が慰問に来て下さいました。リコーダーの演奏や歌を披露してくださいました。節分では、鬼退治をし厄落としをしました。本来ならば、クッキングを予定していましたが食中毒防止の為、中止させて頂いていただきました。創作活動では、節分飾り、雛飾り作りに挑戦しました。

今月には外出やクッキングが再開出来ればと思つて色々計画中です。

本年も、昨年同様きざえもんの運営にご賛同、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。何かお気づきのことがありましたら職員までお気軽に声を掛けて下さい。



大気味神社



発行日
小規模多機能型
居宅介護施設
「きざえもん」

令和2年
3月1日
西条市北条232-1

TEL(0898)65-6672
AX(0898)65-6663

第74号

今回の号は、散歩などで使用させて頂きいただいている大気味神社と「喜左衛門」についてお話ししたいと思います。

宝永二年(1705)、風水害や虫害で当地一帯が飢饉に陥った。困った村人は、神の助けを得ようと五穀の神大気都比売を祀って大気味神社を創建した。その神社の境内にある大樹に棲んでいたのが、狸の喜左衛門である。変幻自在の神通力を持った知恵狸で、屋島の禿狸、新居浜の小女郎狸と並ぶ四国三大狸と称され、その名は遠く上方にまで知れ渡っていたと言う。

・喜左衛門と禿狸の化け比べ
ある日、屋島の禿狸と会った喜左衛門。いろいろな話をするうちに、化け比べをすることになった。禿狸は、少々考えてからパッと姿を消したかと思うと、喜左衛門の目の前で壇ノ浦の源平合戦を見事に演じて見せた。「さすが禿狸！」とうなる喜左衛門に、「今度は君の手並みを見せてくれ」と禿狸。喜左衛門は「準備があるから数ヶ月後に大名行列をお目にかけてよう」と言って別れた。

約束の日、喜左衛門に言われたとおり禿狸が街道沿いで待っていると、殿様が大勢の家来を連れてやってきた。「喜左衛門、上出来だ」と禿狸が手を叩きながらお駕籠に近づくと、家来は「無礼者！」と禿狸を切りつけた。

それもそのはず。この行列は喜左衛門の化け行列ではなく、本物の殿様の行列だったのだ。賢い喜左衛門は、前もって知っていたこの行列を化け比べに利用し、禿狸はまんまと騙されてしまった。

大気味神社の社では、今まさに化けんとする喜左衛門が参拝者を出迎える。中に入ると、喜左衛門狸の会が第一回の喜左衛門祭りに合わせて作った、高さ二メートルほどの張り子の喜左衛門がある。作られたから二十年以上経っているにもかかわらず、色あせずつややかなその姿を見ると、喜左衛門が地元の方々にいかに大切にされてきたかわかる。さらに奥に進むと、喜左衛門を祀った小さな祭壇がある。喜左衛門は大気味神社の眷属として、七つの誓願を立て、人々を救済したそうだ。

正月行事



福笑い



初詣



書初め



とうとうさん



創作活動



レクリエーション



多賀小慰問



誕生日会

HAPPY BIRTHDAY



お知らせ

3月の予定

- ・寒桜
 - ・誕生日会
- その他計画中です。



4月の予定

- ・桜花見
 - ・外食(はま寿司)
- 創作 藤の花作り



令和元年度第6回地域運営推進会議を
第3木曜日に行います。

3月26日(木曜日) 午後2時より3時まで
グループホーム多賀の里・フロアーにて開催します。

地域の方々、利用者様、ご家族の皆様方と交流を
深めることが出来ればと思っております。

館内の掲示板に沢山の作品を展示しています。
多くの方々にご覧頂きたいと思えます。
また、きざえもんでは出来る限り、今の家や住み慣れた地域
で在宅生活を続けていきたい方を応援いたします。

お問い合わせ、見学は毎日対応しています。
気軽にお越しください。

